

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v.2.0)

<b>1 建物概要</b>			
建物名称	(仮称)ニューガイア下曽根新築コ	BEE	0.9 BEEランク B- ★★

<b>2 重点項目への取組み度</b>			
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.0 /5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.5 /5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	1.3 /5		がんばろう
4 高齢社会への対応	1.0 /5		がんばろう
<sup>※</sup> 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上            ふつう 3 点以上            がんばろう 3 点未満	

<b>3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア</b>			
使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2014年版		使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)	
<b>1 循環型社会への貢献</b>		スコア平均 3.1	
<b>リサイクルに関する配慮</b> LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3	<b>長寿命化に関する配慮</b> Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3 スコア 3.2
グリーン購入法における特定調達品目(ビニル系床材使用)。		標準的な仕様です。	
<b>2 地球温暖化対策の推進</b>		スコア平均 3.6	
<b>省エネ・省資源に関する配慮</b> LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 4.1	<b>節水に関する配慮</b> LR2/ 1.1 節水	スコア 3
ライフサイクルCO2概算値 排出率72%。		主要水栓に節水コマ使用。	
<b>3 豊かな自然環境の確保</b>		スコア平均 1.3	
<b>生態系保全に関する配慮</b> Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	<b>緑化に関する配慮</b> Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 2 スコア 1
建築地はショッピングセンター跡地で、既存自然物は無し。		今回計画も緑地無し。	
<b>4 高齢社会への対応</b>		スコア平均 1.0	
<b>バリアフリーに関する配慮</b> Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 1	<b>主な指標</b> 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 等級3 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEI値、住宅: - 0.25 外構緑化指数 0 % 建物緑化指数 0 %	
特定まちづくり施設新築等未達成			

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニューガイア下曽根新築工事	階数	地上6F
建設地	北九州市小倉南区下曽根4丁目2079-1の一部・2084-1の一部	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、法22条地域	平均居住人員	224 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年11月1日
敷地面積	3,249 m <sup>2</sup>	作成者	山下 明洋
建築面積	1,442 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月1日
延床面積	5,976 m <sup>2</sup>	確認者	山下 明洋

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 72%  
③上記+②以外の 72%  
④上記+ 72%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.8

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
全戸個別供給型太陽光発電マンションとして、クリーンマンションを目指しています。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
生活しやすい環境を提供します。	ギガバイトクラスの光回線を装備	周辺環境に調和させたデザインとします。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
2面開口を取っています。	環境にやさしい資材使用を努力します。	環境に配慮します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)ニューガイア下曽根新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音			-		-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		2.0	0.63	3.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 外皮性能		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性			-		-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.38	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.5	0.50			
1 昼光率	u=1.9	1.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口			-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理			-		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-			
2 喫煙の制御			-		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00			<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応	1Gbit光回線		-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観	居室天井高H=2.5m		-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30					<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	2.4	0.20	[Cross-hatched]	-	[Yellow]
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
	3	電気設備	2.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>							
	1	階高のゆとり	階高H=2.965m	-	<b>3.6</b>	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		-	4.0	0.60	
				-	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	[Cross-hatched]	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	[Cross-hatched]	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	[Cross-hatched]	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	[Cross-hatched]	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	[Cross-hatched]	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	[Cross-hatched]	-	<b>2.5</b>
	<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		<b>3.0</b>	0.50	[Cross-hatched]	-	
	<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		<b>2.0</b>	0.50	[Cross-hatched]	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			BEI 非住宅 0.25 住宅(専有部) 0.91	<b>3.5</b>	0.50	[Cross-hatched]	<b>3.5</b>
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		[Cross-hatched]	-	[Cross-hatched]	-	
	集合住宅の評価(3c)		一次エネルギー消費率 0.91%	<b>3.5</b>	1.00	[Cross-hatched]	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
	集合住宅以外の評価		[Cross-hatched]	-	[Cross-hatched]	-	
	4.1	モニタリング	[Cross-hatched]	-	[Cross-hatched]	-	
	4.2	運用管理体制	[Cross-hatched]	-	[Cross-hatched]	-	
	集合住宅の評価		<b>3.0</b>	1.00	[Cross-hatched]	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	[Cross-hatched]	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	[Cross-hatched]	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
	<b>1.1 節水</b>		<b>3.0</b>	0.40	[Cross-hatched]	-	
	<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>		<b>3.0</b>	0.60	[Cross-hatched]	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	[Cross-hatched]	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	[Cross-hatched]	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.0</b>	0.60	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
	<b>2.1 材料使用量の削減</b>		3.0	0.10	[Cross-hatched]	-	
	<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
	<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>		3.0	0.10	[Cross-hatched]	-	
	<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	
			ビニル系床材(NSシート)、バルコニー、開放廊下床				
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
	<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		3.0	0.30	[Cross-hatched]	-	
	<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>		<b>3.0</b>	0.70	[Cross-hatched]	-	
	1	消火剤	-	-	[Cross-hatched]	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	1.00	[Cross-hatched]	-	
	3	冷媒	-	-	[Cross-hatched]	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			ライフサイクルCO2 72%	<b>4.1</b>	0.33	[Cross-hatched]	<b>4.1</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.3</b>	0.33	[Cross-hatched]	<b>2.3</b>
	<b>2.1 大気汚染防止</b>		燃焼機器不使用	<b>5.0</b>	0.25	[Cross-hatched]	
	<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>1.0</b>	0.50	[Cross-hatched]	
	<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.3</b>	0.25	[Cross-hatched]	
	1	雨水排水負荷低減	-	-	[Cross-hatched]	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	[Cross-hatched]	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.33	[Cross-hatched]	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.33	[Cross-hatched]	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	[Cross-hatched]	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	[Cross-hatched]	-	
	1	騒音	3.0	0.50	[Cross-hatched]	-	
	2	振動	-	-	[Cross-hatched]	-	
	3	悪臭	3.0	0.50	[Cross-hatched]	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	[Cross-hatched]	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	[Cross-hatched]	-	
	2	砂塵の抑制	[Cross-hatched]	-	[Cross-hatched]	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	[Cross-hatched]	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	[Cross-hatched]	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	[Cross-hatched]	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	[Cross-hatched]	-	